

春らしい陽射しとともに、大学のキャンパスにも新しい季節がめぐってきました。

現在在学中の人の多くは、実際に利用したかどうかは別にしても、それまでの学校にスクールカウンセラーがいた世代です。大学の中でスクールカウンセラーの役割を果たすのは学生相談室ですが、そのサービスマネジメントはより

多岐にわたります。大学生生活での問題解決に必要な情報提供、カウンセリング、心理テスト、ご本人に関わる教職員間の連携調整を行うほか、授業の空き時間に誰もが好きなことをして過ごせるフリースペースや精神科医による相談も提供しています。

大学生活では、それまでの学校生活のようにいつでも同じクラスで同じメンバーで授業を受けるわけではなく、自分の関心にもとづいて時間割や友達を作り、部活・サークル活動やアルバイトをすることがどうかを決めていく必要があります。この自由度の高さには大学

生ならではの気楽さがある一方、自己責任の重さも伴っており、人によつては自由であることに戸惑いや不安を感じる人もいます。その具体的な内容も表現も人それぞれで、よく聴いていると一人として同じ人はいません。このような

学生生活上の気がかりにきめ細かく対応するために、学生相談室のサービスマネジメントも拡充を重ねてきました。また、このような気がかりには、意図的ではなく、その人の個性がすでに色濃く反映されています。この個性が「自分らしさ」の核であり、学生相談室に来る人が悩みながら成長するために大切にすべきものの一



つです。相談の中で現実的な問題解決の糸口をとものにたどりつつ、常にその人の個性にも関心を向け、その展開を妨げないように半歩下がって寄り添うことが学生相談室の基本姿勢です。

これから相談に来る人が自分らしく成長する過程をささやかながらとにもできることを祈っています。